2020/4/21 シラバス参照

## 講義概要/Course Information

2020/04/21 現在

科目基礎情報/General Information				
授業科目名				
反未符日石 /Course title	総合コミュニケーション科学			
(Japanese)				
———————————————— 英文授業科目名				
/Course title (English)	Comprehensive Communications Sciences			
科目番号	HEC1017			
/Code	UEC101z			
開講年度	2019年度	開講年次	1	
/Academic year	2015—12	/Year offered	-	
開講学期		開講コース・課程		
/Semester(s) offered	前学期	/Faculty offering the	情報理工学域	
		course		
授業の方法	講義	単位数 /Cradita	2	
/Teaching method		/Credits		
科目区分	実践教育科目			
/Category				
開講学科・専攻 /Cluster/Department	情報理工学域			
担当教員名				
担当教具名 /Lecturer(s)	由良憲二			
冶重 /Office	西5-805(由良憲二)			
 公開E-Mail				
/e-mail	k.yura@uec.ac.jp			
/Course website	右記のwebclassの1年生前期木曜日1時限 <a href="https://webclass.cdel.uec.ac.jp/">https://webclass.cdel.uec.ac.jp/</a>			
更新日	2010/06/26 10:22:47	更新状況	公開中	
/Last updated	2019/06/26 18:22:47	/Update status	/now open to public	
講義情報/Course Description				
主題および				
達成目標	本授業では、「総合コミュニケーション科学」の考え方を理解し、情報理工学部の各教育プログラムの内容と教育プログラムの全体を傾随できるとうにおることを見指す			
/Topic and goals	内容と教育プログラムの全体を俯瞰できるようになることを目指す。			
前もって履修				
しておくべき科目	特になし。			
/Prerequisites				
前もって履修しておくこ				
とが望ましい科目 /Recommended	特になし。			
prerequisites and	151にない。			
preparation				
/Course textbooks and	必要に応じてプリントを配布	必要に応じてプリントを配布。		
materials				
授業内容と	第1回〜第14回では、各教育プログラムの先生から、教育・研究分野の内容、科目履修の仕方、進路等			
その進め方	について講義を受ける。第15回に、全体のまとめを行う。			
oumu office uec ac in/syllabus/2	010/31/31 21018101 html		1/2	

2020/4/21 シラバス参照

2020/4/21	シラバス参照		
/Course outline and weekly schedule	第1回(4月11日)第3類「化学生命工学」(白川(英)先生ご担当)第2回(4月18日)第3類「物理工学」(松林先生ご担当)第3回(5月9日)第3類「電子工学」(志賀先生ご担当)第4回(5月23日)第3類「電子工学」(美濃島先生ご担当)第5回(5月30日)第3類「機械システム」(久保木先生ご担当)第6回(6月6日)第2類「洗端ロボティクス」(横井先生ご担当)第7回(6月13日)第2類「計測・制御システム」(金子(修)先生ご担当)第8回(6月20日)第2類「情報通信工学」(松浦先生、田尻先生ご担当)第9回(6月27日)第2類「情報通信工学」(松浦先生、細川先生、八木先生、石橋先生、須藤先生ご担当)第10回(7月4日)第1類「情報数理工学」(山本野人先生ご担当)第11回(7月11日)第1類「コンピュータサイエンス」(大森先生ご担当)第12回(7月18日)第2類「セキュリティ情報学」(太田先生ご担当)第13回(7月25日)第1類「経営・社会情報学」(板倉先生ご担当)第14回(8月1日)第1類「メディア情報学」(大須賀先生ご担当)第14回(8月1日)第1類「メディア情報学」(大須賀先生ご担当)第15回(8月1日2時限)由良まとめ担当		
美務経験を活かした 授業内容 (実務経験内容も含む) /Course content utilizing practical experience			
授業時間外の学習 (予習・復習等) /Preparation and review outside class	各教育プログラムについて、電気通信大学のウェブページなどで事前ないし事後に把握すること。		
成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む) /Evaluation and grading	各教育プログラムの講義を受けて「新たに気付いた事項」を200字以内にまとめ、それら14回分をまとめたものをレポートとして、Webclassの本授業分に期日までに提出のこと。提出されたレポート(70%)と出席状況(30%)を評価して、100点満点で60点以上を「合」と判定する.		
オフィスアワー : 授業相談 /Office hours	月曜5限、事前にメールでアポイントを取ってください(由良)。		
学生へのメッセージ /Message for students	情報理工学域の各教育プログラムについて理解し、新しい知識や視点を得ることが、本授業の目的である。遅刻せずに授業開始から終了まで授業を聞いて、気付いた事項をメモしておき、レポートを作成すること。なお、交通機関の運休、インフルエンザ罹患、忌引き等を除き、授業には必ず出席すること。		
その他 /Others	特になし。		
キーワード /Keyword(s)	総合コミュニケーション科学、セキュリティ情報学、情報通信工学、電子情報学、計測・制御システム、先端ロボティクス、機械システム、電子工学、光工学、物理工学、化学生命工学、メディア情報学、経営・社会情報学、情報数理工学、コンピュータサイエンス		